

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 4年 6月 16日</p> <p>大阪府泉州農と緑の総合事務所長 殿</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"><p style="text-align: center;">受 付</p><p>令和 -4.6.23</p><p>泉農緑第 号</p><p style="text-align: center;">大阪府</p></div><div style="margin-left: 20px;"><p>提出者</p><p>住 所 大阪市中央区淡路町1丁目2番6号</p><p>氏 名 阪本薬品工業株式会社 代表取締役社長 阪本 稜雄</p><p>（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）</p><p>電話番号 06-6231-1851</p></div></div> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	阪本薬品工業株式会社 泉北工場
事業場の所在地	大阪府泉大津市臨海町1丁目20番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1.6：化学工業
②事業の規模	出荷金額：66億円
③従業員数	泉北工場70人/会社全体324人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	排出量	904.60 t	8,566.83 t
	(これまでに実施した取組)	①装置を安定稼働させること、また無機成分の少ない原料を使用することにより、排出量の低減を図る。	②活性汚泥施設より排出するスラリー量である。脱水機により減量して搬出、処理施設で全量が堆肥化される。
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	排出量	905.00 t	8,570.00 t
	(今後実施する予定の取組)	上記①の取組を継続。	脱水機の保全を含めた排水処理設備の安定稼働を行い、発生量の削減に努める。
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 基本的に発生した所で保管管理しているので、全て分別されているが、廃プラとガラスくずは混合物として委託処分している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組を継続。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
146.64 t	23.57 t	8.01 t	0.60 t
③製造工程にて使用する活性炭の廃棄物であり、年々品質を確認しながら添加量を削減してきた。	④タンクに堆積した汚泥。清掃に伴い回収。	⑤油溶性製品又は仕掛品が不要となり処分した。量の削減に努めている。	⑥製品の処分に伴い、発生。量の削減に努めている。

②計画

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
147.00 t	24.00 t	8.00 t	1.00 t
上記③の取組を継続。	④適正処理に努める。	上記⑤の取組を継続。	上記⑥の取組を継続。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	⑩ばいじん
168.89 t	6.11 t	1.36 t	1.92 t
⑦設備洗浄の際に発生。使用量の適正化に努めている。	⑧廃プラ及びガラスくずの混合物。可能な限りサンプル瓶を洗浄、再利用を実施している。	⑨パレット及び梱包材。生産活動に伴い止むを得ず発生する。	⑩焼却炉処理水の濾過で用いる濾過助剤であり、濾過助剤の使用量の適正化に努めている。令和3年度に焼却炉の廃止に伴い、今後は発生の予定なし。

②計画

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	
169.00 t	6.00 t	1.00 t	t
上記⑦の取組を継続。	上記⑧の取組を継続。	上記⑨の取組を継続。	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	8286.94 t
（これまでに実施した取組） ・廃アルカリを自社焼却炉にて、通年燃焼処理。 ・余剰汚泥スラリーを脱水機にて脱水。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	8290 t
（今後実施する予定の取組） 上記取組を継続。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	⑩ばいじん
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	⑩ばいじん
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
	全処理委託量	904.598 t	279.89 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	279.89 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
146.64 t	23.57 t	8.006 t	0.6 t
146.64 t	23.57 t	t	t
146.64 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	⑩ばいじん
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	⑩ばいじん
168.89 t	6.11 t	1.36 t	1.92 t
168.89 t	6.11 t	1.36 t	1.92 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

0 t	0 t	0 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②有機性汚泥
②計画	全処理委託量		905 t	280 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	280 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記取組を継続。			
※事務処理欄				

②計画

③有機性汚泥	④汚泥	⑤廃油	⑥汚泥
147 t	24 t	8 t	1 t
147 t	24 t	t	t
147 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

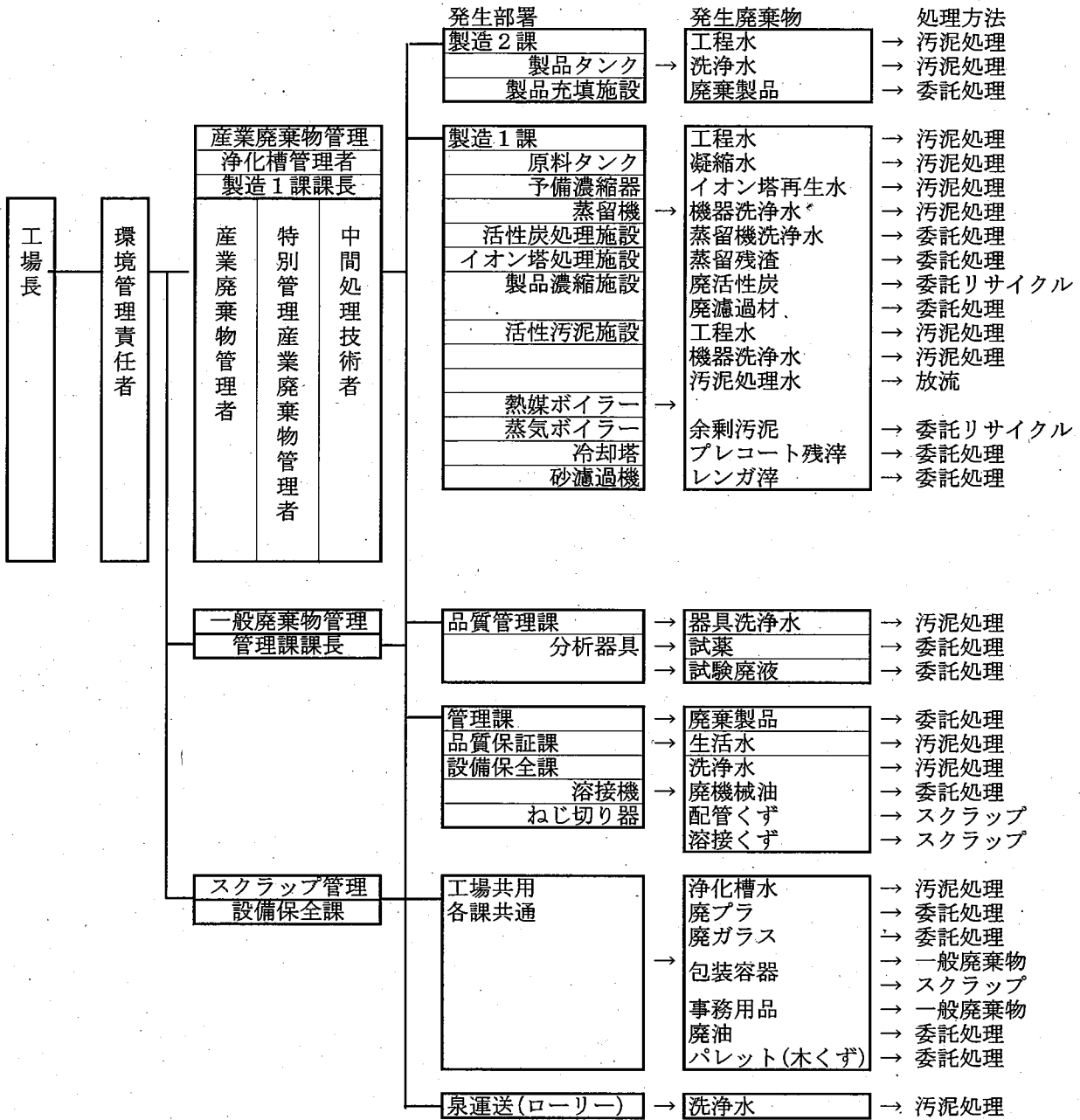
②計画

⑦廃酸	⑧ガラスくず等	⑨木くず	
169 t	6 t	1 t	0 t
169 t	6 t	1 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

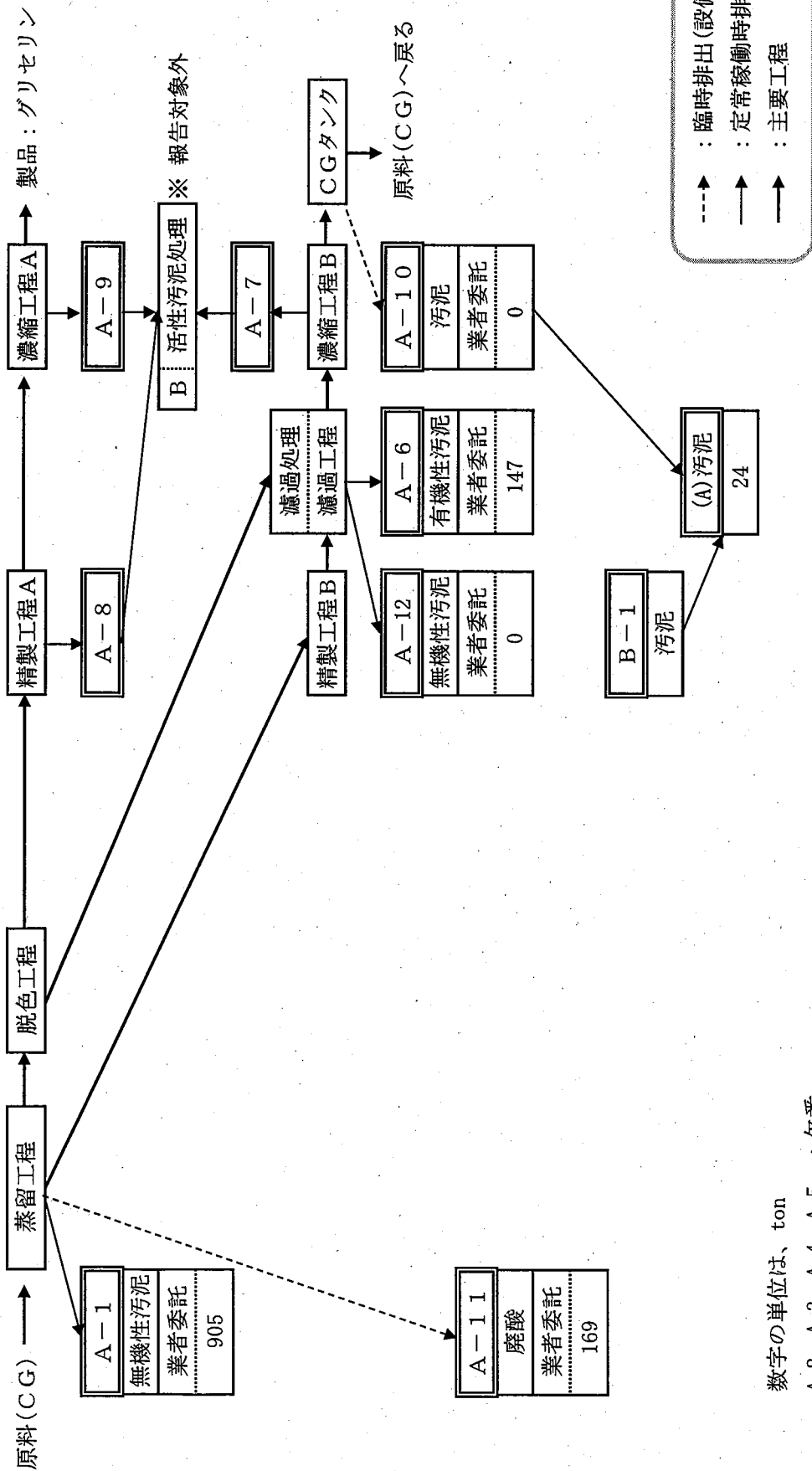
0 t	0 t	0 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

第2面別紙：廃棄物管理体制図





A グリセリン製造工程



数字の単位は、ton

A-2, A-3, A-4, A-5 : 欠番

産廃発生・処理工程フローシート(第1面)④産業廃棄物の一連の処理の工程

第1面別紙

B. 排水処理工程

